

山形大学人文社会科学部 編入学ガイド

(2019年度作成版)

—人文社会科学部への編入学をめざす皆さんへ！—

編入学とは？

他大学や短期大学（高等専門学校）を卒業し、さらに勉強を続けたいという意欲を持っている方、また他大学の2年次以上に在学中の方を対象として、私たちは「山形大学人文社会科学部第3年次編入学」という制度を設けています。

専門をさらに深めて勉強したい人たち、あるいは、これまで学んできた専門とはまったく異なる学問に挑戦してみたい人たちを私たちは歓迎します。



山形大学人文社会科学部

山形大学人文社会科学部 編入学ガイド

—人文社会科学部への編入学をめざす皆さんへ！—

第1章 人文社会科学部ではこんな風に学べます！…1頁～7頁

- ・各コースの特色など
- ・カリキュラムマップ

第2章 卒業生の進路…8頁

- (1) 編入学生の進路と就職実績
- (2) 編入学生の主な就職先・進学先

第3章 「単位」と「読み替え」をめぐる少し難解なお話

…9頁～10頁

第4章 編入学生に聞きました！…11頁～13頁



人文社会科学部への編入学をめざす皆さんへ！

第1章 人文社会科学部ではこんな風に学べます！

人文社会科学部の各コースの特色などは以下のとおりです。

(1) 人間文化コース

特 色：人類学，歴史，言語，文学，映像，哲学，認知心理学など，人間とその文化的活動に関する体系的な専門知識を身につける。

教育目標：人間とその文化的活動に関する体系的な専門知識と教養を身に付けた人材，またそれを基礎として身近な文化資源を発見，理解し，的確に表現，発信できる高度な言語能力と実践力を身に付けた人材の育成を目標とする。

学べる領域：①文化人類学プログラム（文化人類学・環境動態論・アンデス考古学）
②歴史学プログラム（日本史・アジア史・ヨーロッパ史・考古学）
③認知情報科学プログラム（認知科学・情報科学）
④日本学プログラム（日本文学・日本語学・日本語教育学・比較文学）
⑤文化解釈学プログラム（芸術文化・表象文化・哲学）

(2) グローバル・スタディーズコース

特 色：英語等の外国語の高い運用能力を基本に，国際社会に関する人文科学・社会科学の専門知識を学ぶ。

教育目標：人文社会科学の分野横断的な専門知識，外国語の高度な運用力，そしてグローバル化に適応できる柔軟な思考力と見識を身に付け，多文化間の相互理解に貢献することができる人材の育成を目標とする。

学べる領域：「国際地域研究」と「多文化研究」の2つの専門教育プログラムによって，国際社会・文化に関する人文・社会科学の知識を総合的に学ぶ。

(3) 総合法律コース

特 色：法律学の基礎知識と幅広い法的思考の術を学び，地域社会の課題を法的な視点をいかして解決する力を身に付ける。

教育目標：法律学の基礎的知識を修得した上で，学際的及び実践的視点を養う教育プログラムの履修を通じて幅広く応用可能な法的思考能力を身に付けることにより，法律学の視座から地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材の育成を目標とする。

学べる領域：憲法，行政法，刑法，刑事訴訟法，民法，商法，民事訴訟法，国際法，法哲学，労働法，国際取引法，経済法，など。

(4) 地域公共政策コース

特 色：地域社会やコミュニティが抱える様々な問題を把握・分析し、その解決に取り組むための知識と技能を実践的に学ぶ。

教 育 目 標：地域社会やコミュニティが抱える様々な問題について適切に分析する能力を身につけるとともに、コース横断科目や地域・自治体と連携した実践科目の履修などを通じて、公共政策を主体的に担い地方創生に貢献できる人材の育成を目標とする。

学べる領域：政治学，行政学，公共政策学，社会学，地理学，グローバルガバナンス論，など

(5) 経済・マネジメントコース

特 色：経済学と経営学を中心に広く社会科学の諸分野を学び、地域で生活し働く人や企業が抱える諸問題を分析し課題解決に取り組む実践的な能力を養う。

教 育 目 標：経済社会で活躍するために不可欠な能力を身に付けさせるとともに、コース横断的な履修や多彩な実践科目の履修を通じて経済社会の課題解決と持続的な地域経済発展に貢献できる人材の育成を目標とする。

学べる領域：ミクロ経済学，マクロ経済学，経済原論，経済史，統計学，経済政策論，社会政策論，金融論，財政学，国際経済学，経営学，会計学，ゲーム理論，環境経済学，など。

■カリキュラムマップ[人間文化コース]

DP6

DP5

DP1

DP4, DP3

DP2

完成



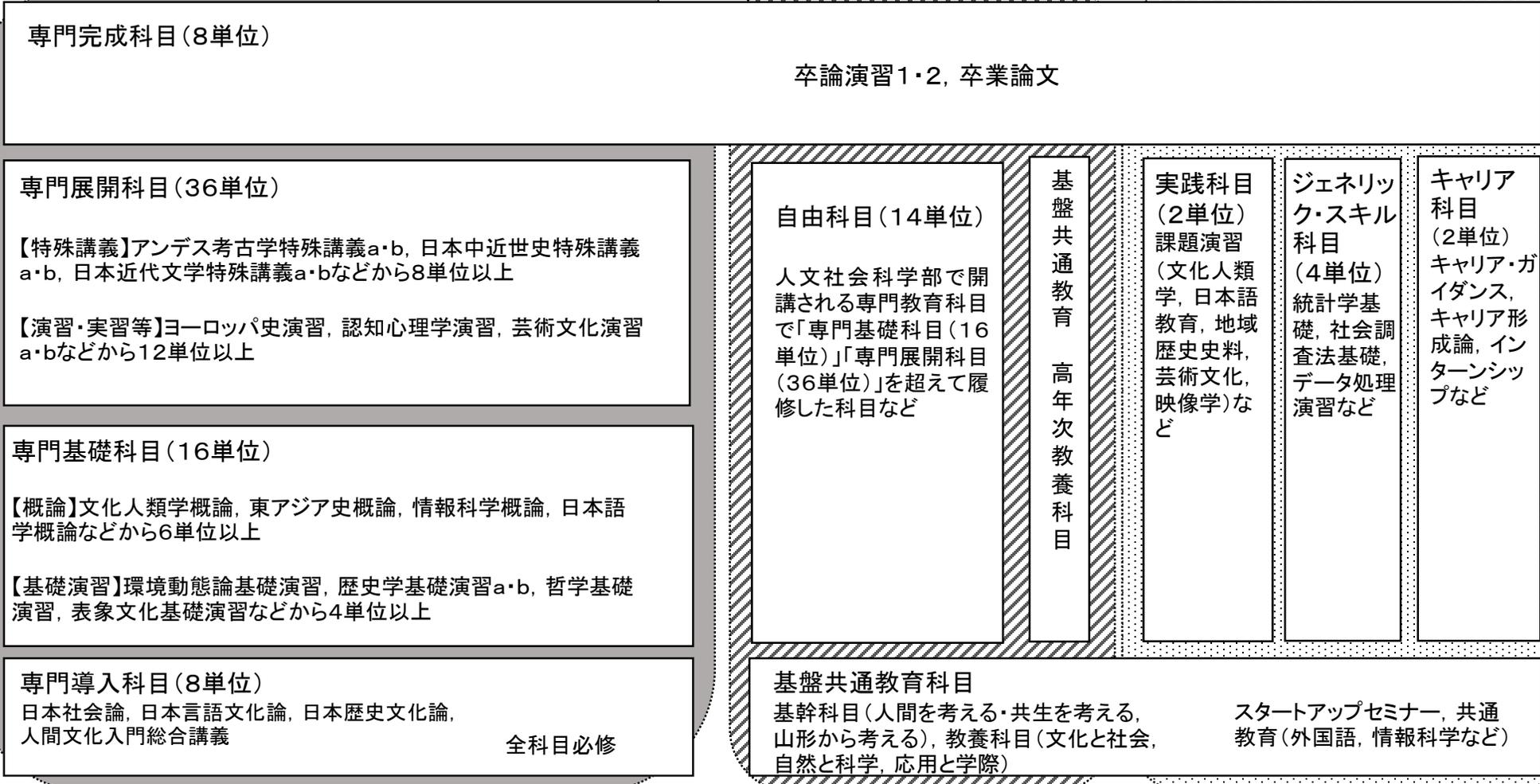
展開



基礎



導入



専門性

CP6

CP5

学際性

CP4, 3, 2, 1

実践性

■カリキュラムマップ[グローバル・スタディーズコース]

DP6

DP4

DP5

DP3 (DP6) (DP4)

DP2

DP1

完成



展開



基礎



導入

専門完成科目(8単位)

卒論演習1(必修), 卒論演習2(必修), 卒業論文(必修)

専門展開科目(20単位)

【講義科目から8単位以上】

①(現代中国論, 英米文化論, ドイツ文化論, 比較憲法, 市民社会論など), あるいは, ②(中国語学講義, フランス文化論, 英語学特殊講義, Japanese Short Storiesなど)

【演習科目から4単位以上】

①(アジア文化演習, ロシア文化演習, ヨーロッパ史演習, 国際法演習など), あるいは, ②(比較文化・文化交流史演習, 英米文学講読, 言語学演習a, 異文化理解演習など)

専門基礎科目(10単位)

国際協力論(必修), 多文化共生論(必修)

【①国際地域研究プログラムの場合】A群(近現代中国文化概論など)から選択(4単位), B群(国際法1など)から選択(2単位)

【②多文化研究プログラムの場合】A群(比較文化・文化交流史概論など)から選択(4単位), B群(中国文学概論など)から選択(2単位)

専門導入科目(4単位)

グローバル・スタディーズ基礎講義(必修), 他コース開講の専門導入科目(選択必修)

自由科目(18単位)

人文社会科学部で開講されるすべての専門教育科目のうち, 本コースの卒業要件となる単位を超えて履修した科目など

基盤
共通教育

高年次
教養科目

専門語学(12単位)

英語又は英語以外の外国語(中国語, ドイツ語, フランス語, ロシア語のうち一つ)のいずれか

ジェネリクス
スキル科目(4単位)

データ処理演習, 社会調査法基礎, 統計学基礎から

キャリア
科目(2単位)

キャリア・ガイダンス, キャリア形成論, インターンシップなど

実践科目(8単位)

グローバル・プロブレマティーク基礎演習, 異文化間コミュニケーション1, 同2など

基盤共通教育科目

基幹科目(人間を考える・共生を考える, 山形から考える), 教養科目(文化と社会, 自然と科学, 応用と学際)

外国語

情報科学

スタート
アップ
セミナー

CP6

CP4

CP5

CP3(CP6) (CP4)

CP2

CP1

専門性

学際性

実践性

■カリキュラムマップ[総合法律コース]

DP6

DP1

DP5

DP2, DP3, DP4

完成



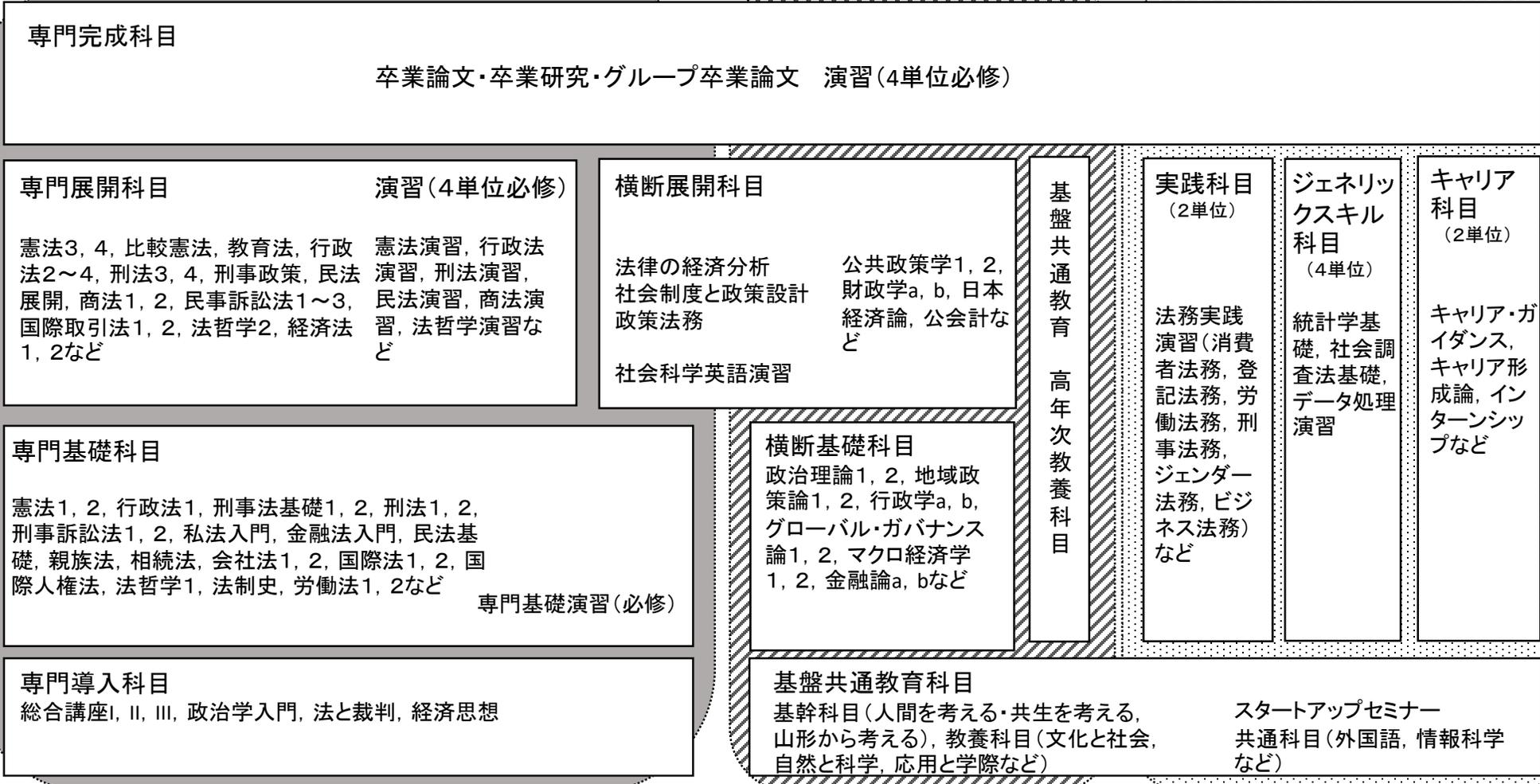
展開



基礎



導入



専門性

CP6 CP5 CP7

学際性

CP1, CP2, CP3, CP4

実践性

■カリキュラムマップ[地域公共政策コース]

DP5

DP6

DP1

DP2, DP3, DP4

完成



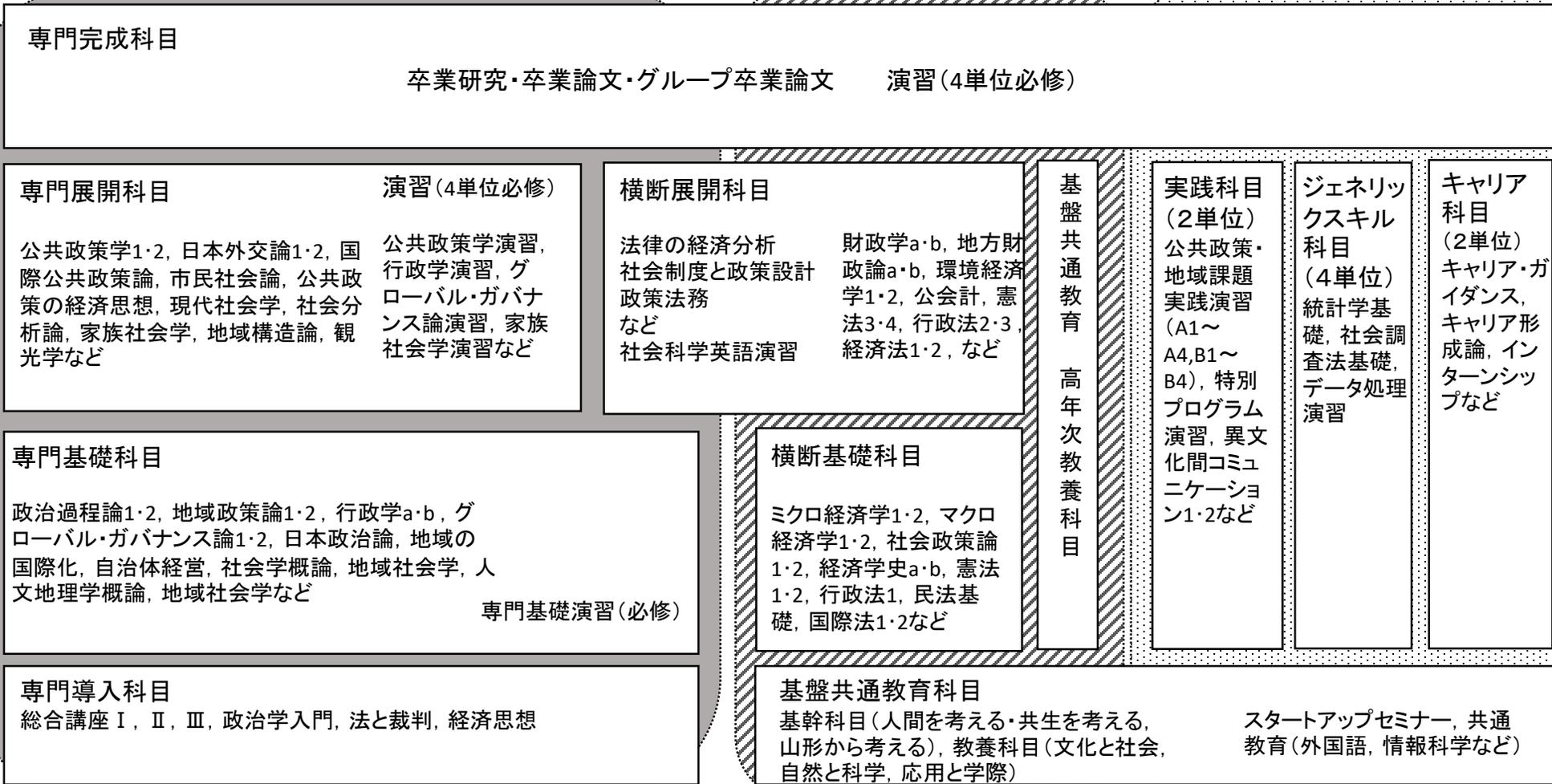
展開



基礎



導入



専門性

CP6

学際性

CP5, 4, 3, 2, 1

実践性

■カリキュラムマップ[経済・マネジメントコース]

DP6

DP1

DP5

DP2, DP3, DP4

完成



展開



基礎



導入

専門完成科目

卒業研究・卒業論文・グループ卒業論文 演習(4単位必修)

専門展開科目

演習(4単位必修)

ゲーム理論1,2, 計量経済学1,2, 財政学a,b, 地方財政論a,b, 国際金融論a,b, 環境経済学1,2, 経営情報a,b, マーケティングa,b, 中小企業論a,b, 管理会計a,bなど

マクロ経済学演習, ミクロ経済学演習, 統計学演習, 財政学演習, 会計学演習, 中小企業論演習など

横断展開科目

法律の経済分析
社会制度と政策設計
など
社会科学英語演習

行政法1,2, 国際
取引法1,2, 労働
法1,2, 経済法1,2,
ビジネス与信管理
入門など

基盤
共通教育

高年次
教養科目

実践科目
(2単位)

企業課題
解決型実
践演習a,b,c,
ビジネス創
業実践演
習, 特別プ
ログラム演
習, 異文化
間コミュニ
ケーション
1・2など

ジェネリッ
クススキル
科目
(4単位)

統計学基
礎, 社会調
査法基礎,
データ処理
演習

キャリア
科目
(2単位)

キャリア・ガ
イダンス,
キャリア形
成論, イン
ターンシッ
プなど

専門基礎科目

ミクロ経済学1,2, マクロ経済学1,2, 経済原論1,2, 経済学史a,b, 日本経済史1,2, グローバル経済史1,2, 統計学1,2, 経済情報科学1, 経済政策論1,2, 社会政策論1,2, 金融論a,b, 国際経済学a,b, 経営学a,b, 会計学1,2, 経営組織論, 財務会計a, オペレーションズ・リサーチなど 専門基礎演習(必修)

横断基礎科目

憲法1,2, 刑事法基礎
1,2, 民法基礎, 会社法
1,2, 地域政策論1,2, 政
治理論1,2, 行政学a,b,
グローバル・ガバナンス
論1,2など

専門導入科目

総合講座I, II, III, 政治学入門, 法と裁判, 経済思想

基盤共通教育科目

基幹科目(人間を考える・共生を考える,
山形から考える), 教養科目(文化と社会,
自然と科学, 応用と学際)

スタートアップセミナー,
共通教育(外国語, 情報科学
など)

専門性

CP6

CP5

学際性

CP4, 3, 2, 1

実践性

第2章 人文学部に編入した卒業生の進路

(1) 卒業生の進路と就職実績 (3月卒)

年度	卒業生	就職決定者	進学	その他	就職率
平成30年度	24	22	0	2	100%
平成29年度	22	21	1	0	100%
平成28年度	24	21	0	3	100%
平成27年度	20	16	1	3	100%
平成26年度	21	18	0	2	94.7%

(2) 主な就職先・進学先

建設業、不動産業	安藤組、黒澤建設工業、東北電化工業
製造業	A S E ジャパン、TPR工業、イトウ製菓、デンソーFA山形、でん六、トプコン山形、トヨタ自動車東日本、日立ドキュメントソリューションズ、山形航空電子、リコージャパン
情報通信業	ポニーキャニオン、マクロミル、山形テレビ、山形放送
運輸業、郵便業	JR東日本、ジェイエア、日本通運、日本郵便、はとバス、ヤマト運輸
卸売業、小売業	エネサンス東北、遠藤商事、サマンサタバサグループ、メディセオ、山形スバル、山形三菱自動車販売
金融業、保険業	あいおいニッセイ同和損害保険、かんぽ生命保険、きらやか銀行、全国労働者共済生活協同組合連合会、ソニー生命保険、東京海上日動火災保険、東北労働金庫、日本政策金融公庫、日本生命保険、農林中央金庫、野村證券、三井住友海上火災保険、山形県農業信用基金協会、山形信用金庫
宿泊・飲食業 生活関連サービス業	JTB東北、セドナエンタープライズ、星野リゾート裏磐梯ホテル、盛岡ターミナルビル、ルートインジャパン
教育・学習支援業	国立大学法人山形大学、仙台進学プラザ
医療、福祉関係	公立置賜総合病院、全国健康保険協会、東北自動車協同組合、宮城県市町村職員共済組合、山形健康管理センター
サービス業 (複合サービス含む)	JA山形おきたま、JA会津みどり、日本管財、花巻農業協同組合、マーキュリー
公務員	山形市職員、岩手県職員、秋田県警察本部、喜多方市職員、新庄市職員
教員	山形県教員、宮城県教員
大学院	山形大学大学院社会文化システム研究科

第3章「単位」と「読み替え」をめぐる少し難解なお話

皆さんは、短大・専門学校等（以下、短大等）で、自分の専門に応じた専門科目を修得していることでしょう。しかし、そのような短大等での専門科目を編入学後に所属する教育コースの専門科目に読み替えてしまったら、本来学ぶべき専門とは異なる分野の科目を多く学ぶことになってしまいます。これでは、本末転倒です。

そのような矛盾を避けるために、短大等での既修得の専門科目については、本学部に入學時には、できるだけ基盤共通教育科目や専門教育科目に読み替えるようにします。

(1) 既修得単位の認定（読み替え）の基本方針

単位の読み替えについては、編入学生の皆さんを1年次からの在學生と可能な限り平等なスタートラインに立たせるという方針のもとでなされています。ただし、短大等で履修したある特定の科目を、本学で開講されている特定の科目に自動的に読み替えることはしていません。個々の編入学生によって編入時に必要となる科目が異なりますので、その実情にあわせて、柔軟な読み替えを行っています。

読み替えることができる単位数の上限は**64単位**です。これらを、基盤共通教育の導入科目〔次頁(4)の①〕、基幹科目〔(4)の②〕、教養科目〔(4)の③〕、および共通科目〔(4)の④〕として優先的に読み替えます。

また、短大等で取得した単位が基盤共通教育高年次教養科目とする人文社会科学共通科目群に読み替え可能である場合には、基盤共通教育高年次教養科目として優先的に読み替えます。上記で読み替えられた単位数が64単位に満たない場合、残りの単位数を専門教育科目として読み替えます。

なお、上記の読み替えの内訳は、一定の目安であり、一つの具体例です。編入学生の既修得単位の状況や編入後の専門課程の教育内容などの実情を勘案し、編入学生の要望にできるだけ沿う形で柔軟に読み替えるというのが基本方針です。読み替えの時、単位の不足になりやすいという理由から、**外国語の読み替えについては、特に優先してなされています。**

(2) 人文社会科学部の単位の数え方

大学の各科目の成績については、評価点(点数)とは別に、「単位」という概念があることはご存知のことと思います。この単位の数え方は、大学によって異なります。山形大学人文社会科学部では、以下のような2つの異なる単位区分を持っています。

①講義・演習等の1コマ(90分)の授業は2単位となります。授業は15コマで構成されています。

②社会科学系3コースで開講される演習(ゼミ)については、2コマ(180分)の授業で2単位となります。授業は30コマで構成されています。

(3) 短大等での外国語の単位取得に関して

英語および初修外国語(ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語及び韓国語)は、それぞれ必修となります。1年次基盤共通教育における外国語クラス(共通科目)の1コマ(90分)の授業は1単位となります。授業は15コマで構成されています。つまり、それ以外の授業とは異なり、同じ時間(コマ)を費やしても、半数の単位数となりますので注意してください(2年次以降の学部専門科目の外国語は、他の授業と同じように2単位となります)。そこで、短大等の英語に関しては、最低限6単位分(1年次15コマ×4=4単位に加えて2年次以降15コマ×1=2単位)以上取っておくことをお勧めします(コミュニケーション・スキル1の必修単位数は、人間文化および社会科学系3コースが6単位、グローバル・スタディーズコース(以下、GSコース)が10単位です)。同様に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語及び韓国語が、所属している短大等で開講されているならば、そのうちの1つの語学をできる限り多く取るようにし、最低限4単位分(15コマ×4=4単位)取っておくことをお勧めします。

※短大等で取得した上記の外国語(英語と初修外国語)の単位が、必修単位数に対して不足している場合は、編入後に、1年次の学生と共に授業に出て、その不足分を補うことが必要となります。

※またスペイン語を履修している場合には初修外国語の単位とはなりません、学部共通科目として認定可能です。

(4) 基盤共通教育（導入科目、基幹科目、教養科目、共通科目）とは？

山形大学では「基盤共通教育」の履修が義務づけられています。「基盤共通教育」は、一般教育や教養教育的な内容を持つものです。「社会に求められる豊かな人間力」という山形大学の理念の下に再構築された教育プログラムで、人間文化および社会科学系3コースは39単位以上、GSコースは43単位以上が必修です。人文社会科学部の基盤共通教育の履修の詳細は以下の通りです。

- ①導入科目「スタートアップセミナー」（2単位）は、必修・重複履修不可です。
- ②基幹科目は、「人間を考える・共生を考える」から2単位、「山形を考える」から2単位、計4単位を修得しなければなりません。選択必修・重複履修不可です。
- ③教養科目は、以下の(a)と(b)両方を満たす20単位を修得しなければなりません。
 - (a)1年次から履修する教養科目（「サイエンス・スキル」「キャリアデザイン」を含む）から14単位修得しなければなりません。バランスよく履修することが望ましいので、「文化と社会」の領域から2単位以上、「自然と科学」と「サイエンス・スキル」の2領域から2単位以上、「応用と学際」、「キャリアデザイン」の2領域から2単位以上の修得が義務づけられています。
 - (b)高年次教養科目 2年次以降に履修する教養科目として、人文社会科学共通科目群から、自分が所属するコース以外のコースで開講されている授業科目を、高年次教養科目として6単位修得しなければなりません。選択必修・重複不可です。
- ④共通科目は、以下の(a)～(c)を満たす13単位（GSコースは17単位）を修得しなければなりません。
 - (a)1年次から開講する共通科目（「サイエンス・スキル」「キャリアデザイン」は除く）は、「健康・スポーツ」から1単位、「情報科学」2単位（「情報処理」2単位）、「コミュニケーション・スキル1」4単位（「総合英語」2単位および「コミュニケーション英語」2単位）、「コミュニケーション・スキル2」4単位（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語及び韓国語のうちから1か国語4単位）、計11単位を修得しなければなりません。
 - (b)2年次以後に開講の英語科目（GSコースは6単位、他のコースは2単位）を修得しなければなりません。
 - (c)外国人留学生を対象として、「コミュニケーション・スキル2（日本語）」について、「コミュニケーション・スキル1又は2」の単位に振り替える場合は、コミュニケーション・スキル1又は2のどちらか一方に振り替えることができます（2単位のみ振り替え不可）。

※基盤共通教育関連の科目の単位数が不足していると、編入後に、基盤共通教育の科目の履修が必要になります。所属の短大等で、あらかじめ教養的な内容の科目をなるべく多めに履修しておくことをお勧めします。

※特に、情報科学（情報処理）については、できるだけ短大等で同様の科目を履修しておいてください。

(5) ジェネリックスキル科目について

人文社会科学部全てのコースにおいて、文系人材に求められる基礎情報技能や課題発見・課題解決に必要とされる科学的な分析や考察ができる基礎力を身につけるため、ジェネリックスキル科目（IT、統計、社会調査）が専門教育科目の学部共通科目として必修となっています。具体的には、2年次以降、「データ処理演習」、「統計学基礎」、「社会調査法基礎」から2科目を選択して履修しなければなりません。このような科目（必要な授業内容が含まれていることが条件）が現在所属の短大等にある場合、それらをジェネリックスキル科目へ読み替えることができます。

(6) 異なる専門領域に編入学する場合はご注意

編入学後、皆さんに残された時間は2年間しかありません。卒業までにそろえるべき単位に注意してください。たとえば、高等専門学校のような理科系からの編入学や、これまで学んできた専門を大きく変えることになる場合は、規定の年数での卒業は大きな困難を伴うこととなります。本ガイドと共に配付される学生便覧をよく読み、自分の希望する専門領域の教育コースで開講される授業科目（特に専門導入科目と専門基礎科目）を十分に確認し、同様の科目が所属している短大等で開講されている場合はできるだけ取っておくことをお勧めします。単位の読み替えができない場合には、たとえば1年次生向けに開講されている専門導入科目を履修するために、3年次生向けの授業科目を履修できず、結果的に卒業が遅れることもあります。

GSコースでは、原則として海外研修が必修となっています。実践科目「海外研修／国内インターンシップ」4単位について、「異文化間コミュニケーション1」「異文化間コミュニケーション2」の履修によってその一部または全部にあてることが出来ます（学生便覧 p.26 参照）。短期語学研修や留学によって短大等の単位を取得した場合は、これらの科目に読み替えることができますので、現在所属の短大等にこのような海外研修授業科目がある場合は、積極的に履修することをお勧めします。

社会科学系3コースでは、所属するコースによって選択可能な演習（ゼミ）が限定されています。出願する際には、専門的に学びたいことを明確にしたうえで、コースの選択を行ってください。

第4章 編入学生に聞きました！

山形大学人文社会科学部に編入学された3名の皆さんの体験談を紹介します。編入学を希望される方のために書いていただきました。短大等に在学しているうちになすべきことや気を付けておくべきこと、入試対策の実践的方法、また、山形大学人文社会科学部に編入学すると出来ること（あるいは、戸惑うこと）、等々の貴重なお話しが聞けます。どうぞ参考になさってください。



編入学体験記

人文社会科学部・人文社会科学科・人間文化コース
柴田 葵

私は短期大学の国語国文学科を卒業後、山形大学の人文社会科学部に編入学しました。理由は、短期大学で学んでいたことをさらに詳しく学びたいと思ったからです。

これを読んでいる皆さんは編入学を考えている方が多いと思いますので、私が編入学するにあたって行っていたことを紹介したいと思います。

編入学の試験は小論文と面接です。小論文は、短期大学で所属していたゼミの先生にお願いして添削をしていただいたり、過去問題を読んだりして対策をしました。本番の試験で全く同じ問題が出るわけではないので、過去問だけを解くのではなく、できるだけいろいろな問題を解いて制限時間の感覚や内容の傾向などを掴んでおく方が良いと思います。面接は、できるだけ多くの先生に面接練習をしていただきました。事前に山形大学に提出する志望理由書の内容をもとに行われるので、まずは志望理由書の中でどれだけ熱意を伝えられるかを考えて書くことが大切です。主に、「なぜ編入学したいと思ったのか」「なぜこの大学でなければならないのか」「編入前の大学ではどんなことを学んできたのか」「編入後にどのようなことを学びたいのか」「そのためにどんなことをするのか」ということを書きました。面接ではこの内容に沿って面接官の先生方から質問をされます。どんなことを訊かれるのか事前にシミュレーションして大まかな回答を考えておくと、本番で落ち着いて受け答えが出来るようになります。

また、編入学後のことを考えて単位を取っておくことも大切です。山形大学では、編入学前に在籍していた学校で取得した単位を柔軟に認定してくれます。編入前の学校で、外国語10単位・第二外国語8単位・体育1単位を事前に取得しておくことをおすすめします。これらは編入学後に必修の基盤科目として認定してもらえるので、1・2年生に混ざって基盤科目を学びなおす必要がなくなり、自分の学びたい専門的な分野の学習に専念しやすくなります。

編入が決まるまではつらいと思いますが、山形大学は編入学生が多いので仲間も多いですし、不安なことがあれば先生方も相談に乗ってくださいます。楽しい大学生活が待っているので諦めずにがんばってください。応援しています！

(山形県立米沢女子短期大学 国語国文学科)



4 年制大学からの編入学

人文社会科学部・人文社会学科・
グローバル・スタディーズコース

山下 貴俊

編入する前、私は名古屋の大学でスペイン語を専攻していました。スペイン語は比較的とっつきやすくおもしろい言語でしたが勉強するうちに他の言語にも興味がわき、社会に出る前にあと2言語学べればと思って編入先を探していたところ地元の山形大学が一番学ぶ環境がいいと思い編入を決めました。

GS コースの試験は英語と面接の2つありました。英語については過去問をベースに早く正確に読む練習と書く練習をしました。読む練習では、英字のニュースサイトの記事を毎日1つ以上読む習慣をつけました。使ったのは主にBBCやCNNなどの海外のニュースサイトです。文章が自然な英語になっていて最初は読むのに苦労しましたが段々と慣れ、わからない単語があれば一つ一つメモして覚えるようにしていました。書く練習では5文以上の英語でその日思ったことを書いて、それを英語が得意な友人や大学の先生に添削してもらい、また書くという作業を週4日やっていました。自分では正しいと思っている英語でもいかに間違っているか練習を通して痛感しました。しかし、おかげで本番では思いの外すらすらと書くことができました。手伝ってもらった人たちには本当に感謝しています。

次に面接についてです。面接の練習は大変でした。まず私の大学から山形大学に編入した人がおらず、過去の面接の情報がまったくない状態から始めました。最初は途方にくれましたがおそらく志望理由書に沿って聞かれるだろうと予想し、ひたすら志望動機や編入後に何をしたいのか考え、そこから派生して聞かれるだろう質問をノートに100個近く書き、大学の先生や友人と何回も受け答えの練習をしました。本番では予想外の質問も出ましたが、概ね答えられたと思います。

編入後の生活ですが、やはり編入生は同じ学年の人と比べても単位が少なく授業は多めにとらなければいけません。バイトもサークルもやりたい人はさらに大変でしょう。しかしその大変さと引き換えにしても編入後は充実した生活を送れます。毎日が新しいことの連続です。今は編入学の勉強と学校の授業の並行で辛いと思いますが、乗り越えた先にはきっとすばらしい毎日が待っています。志したきっかけを忘れず己を信じ、自分の未来を勝ち取ってください。

(南山大学外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科)



編入学に向けてやっておくべきこと

人文社会科学部・人文社会科学科・
地域公共政策コース

菅原 彩加

私は、編入をする前は山梨県の経済系の短期大学に在籍してきました。短大には元々編入志望で入学しました。これを読んでいる人は、編入に興味がある人で編入試験についてはあまり分からない人が多いと思うので、経験則でしか話せませんが、短大等に在学しているうちにやっておくべきことについて少しだけ話そうと思います。

山形大学の編入試験は、小論文と面接のみで英語がない分、他大より専門的な分野の内容の小論文であるため、対策は短期間ではなくコツコツとやっていく必要があります。私の場合は、短大にあった山形大学の過去問を解き添削してもらったり、過去問を解くための背景知識を講義以外で個人的に教えてもらったりしていました。その他には、その分野に関係する本を読んだり毎日新聞を読んだりしていました。面接練習は先輩方の活動報告書から質問されそうなことを考え対策しました。短大等では、このように過去問などをやることや、自分のやりたいことを明確化することだと思います。

それから、編入後に心配なこととしては単位認定があると思いますが、山形大学では、単位認定がとても柔軟であるため、短大などでの学科とあまり変わらない学科への編入や、履修する科目が編入後とあまり変わらないものであれば、上限の64単位に近い単位数は認められると思うのであまり心配しなくて大丈夫だと思います。

編入試験は大変なことも多いと思いますが、是非最後まで諦めずに夢を叶えて欲しいです。

(大月市立大月短期大学 経済科)



